



石田茂作



昭和49年 8月 1日  
編集・発行  
岡崎市教育委員会

(キャンプファイヤー・野外教育センター 竜谷小)

## 薬師信仰



## 中沢 修

数年前、所用で出雲路を尋ね、一畑薬師に参る機会があった。たまたま本堂にぬかずき一心不乱に手を合わせ祈っている母子の姿が目にとまった。子どもは十歳くらいの子で、眼を煩っているらしく、度の強い眼鏡をかけて母親とともに仏前に祈っているその姿は真剣そのもので、ひどく心打たれるものがあった。と同時に、庶民信仰の根強さも痛感した。目まぐるしいほどの医学の進歩は、世の中の病める人々に、多大の恩恵を与えている事は万人の認めるところであるが、難病業病で近代医学からも全く見離された人々も少なくない。こうした不幸な人々

の頼みは、神仏以外にない。なかならず、薬師如来は衆病悉除の大願のもとに、庶民のもろもろの病を救っていただけのありがたい仏様である。

わが国に仏教が渡来した頃、大和を中心にたくさんの仏閣が建てられた。その本尊はたいがい薬師如来であったことを知るにつけても、現世利益の仏として、為政者が布教に利用するに好都合であったと同時に、庶民も病を救う仏様と信じ頼みすがたの様子がかがわれる。ちょうど一畑薬師でみかけた母子のように真剣に祈りつづけたことであろう。(例、四天王寺、法隆寺、薬師寺、元薬師寺、新薬師寺、久米寺、延暦寺等々)

この岡崎地方も薬師信仰の非常に盛んな所であった。三河五大薬師のうち、風来寺を除き全部岡崎額田地区に集まっている事実からもよくわかる。滝山寺、真福寺、高隆寺、桜井寺などがそれである。真福寺は眼病に御利益ありとて遠く尾張方面からもたくさんの信者が集まってくる。

このところ、暇をみて、全国の薬師さんをお参りするよう心がけている。米山甚句で有名な米山薬師、同じ越後の粟薬師、いわき市の赤井薬師、相模の日向薬師などここ一年ぐらいの間に参った薬師さんである。風来寺峯の薬師、高尾山、一畑薬師などを含めて、いずれも山腹なしいし山頂に薬師堂を持ち、病人ではいささか参詣は困難でなからうかと思うことも再三あった。昔の人はそんな困難もの

り越えて薬師参りをしたものと思われる。薬師と温泉を調査し、初めて両者の関係がきわめて深いことを知った。かつては、湯治の名にふさわしく温泉といえは、心身の病をいやす貴重な場所であった。ドンチャン騒ぎで過ごす現在の温泉地とは雲泥の相違であった。湯治場に薬師堂を建て仏に祈りながら身心の疲れをいやす日本人の素朴な精神は何と尊いことであろう。少しく例をあげると、道後温泉、下呂温泉、平湯温泉、浅間温泉、別所温泉、菱野温泉、鹿教湯温泉、湯峯温泉、山中温泉、小川温泉、鳩湯(薬師温泉)などがある。いずれも薬師堂が祭られていて、人々は感謝の心を抱き湯につかったものであろう。

私は醇朴な信仰心が、日本人の心から次第に薄れていくことを非常に残念に思う。そのことは薬師信仰の一端を調べるなかで痛切に感じられた。現代医学は決して万能でない。いや、いつの世でも万能たり得ない。まして現今のわが国の健康保険制度が、病気を治すことに終始し、病人を治すことに全く向いていないことを力説したい。病める人と一時間ゆつくり語り合い訴えを聞いても、その料金は「初診料金五百円也」に換算されるのみである。血も涙もない神風ドクターにならざるを得ない現今を、つくづく惜げなく嘆かわしく思うものである。

(中沢医院院長)

## 遊び

## ●土遊び



いまはむかし

家を一步出れば、遊びの世界であった。母親から「ひとりで行くなら、遊びに行くな」と叱られ、弟や妹の手を引つ張って、肩身の狭い思いをしながら、ガキ大将のいる遊び場へ飛び出して行った。地ぐもとり。芋のしろの中から、甲虫の幼虫捜し。へぼつかみ。落とし穴づくり。地面にかき散らした陣取り。甲虫で、岡崎城へ通じる洞窟捜しの探険。日暮れを気にしながら忍び足で帰った途端、四方から叱声がとぶ。野の大将も、家の中ではおとなしいもので、時には夕食を食べながらコックリを始めていた。

●火遊び

戦前は、花火の改造は当たり前であり、その腕前が競われた時代でもあった。ネズミ、ロービ、玉スグレ花火等の火薬は、竹や木の筒につめかえられた。竹馬や凧も、自分で作った子どもたちの指先は、実に器用であった。つめかえ花火を何本も試しているうちに、序破急という火力変化の二つも会得した。目を輝かせて見入った祭礼の手筒花火は、自作花火の手本でもあったのである。彼等は、まさに



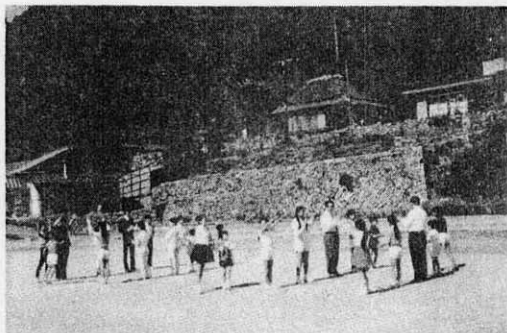
## 二十人の山の学級

松田茂男

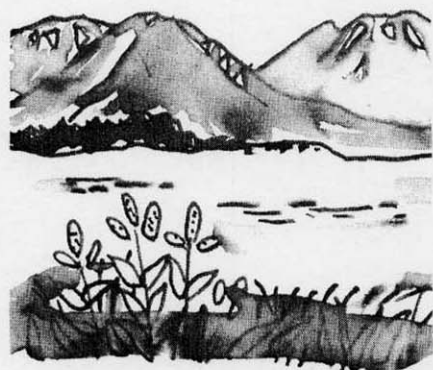
まわりを山々で囲まれ、名古屋本線本宿駅から十一キロメートル、樫山から八キロメートルの非常に閑静な学校が、鳥川小学校です。

部落の戸数は五十九戸。ほとんどの家が川沿いの小高い丘陵の上に建ち並んでいます。児童数は総勢二十名。県下三番目の小規模校で、額田郡では最も規模の小さい学校として知られています。

全校の児童は、お互いによく知り合っており、好むと好まざるとにかかわらず重要な一員として働かなければなりません。だから、全校児童が自主的に活動す



みんなそろって さあ おどろう



る機会が、多く与えられているわけです。これこそ、この学校のもつ特性と言えます。

しかし、小規模校であるため、刺激を欠いて、マンネリ化しやすい危険があるのです。子どもたちひとりひとりを見つめ、多人数の前でもすんで発言でき、ともに考える子に育てようと考えました。

読書指導を通して、そんな子にしたいと努力しています。民話や、創作、絵話などの読後感を真剣に話し合います。低学年も高学年も、助け合って話し合うことは楽しいものです。愛情と信頼に結ばれた和の教育活動を目ざしているのです。ここ鳥川の山あいには吹く風は、さわやかです。鳥川の子どもたちに休当たりしている私の毎日です。(額田・鳥川小)

## 郷に生き

郷をおこそうと

畑中貫一

N先生、お変わりありませんか。忙しさに埋没し、すっかりごぶさたし申しわけありません。でもまあ、便りのないのは元氣なしるしでも思っていてください。

さて、当地の様子ですが、伊勢湾台風で冠水、全滅した吉良町です。今じゃ巨大な護岸大堤防が、万里の長城のように続き、二十三か所もある大排水ポンプで、毎秒何トンもの水がくみ出され、がっちり守られています。さしあたり日本のオ



豪雨の被災調査で校区をまわる

ランダと自慢できそうなゼロメートル地帯です。

郷土学習の資料収集のため、暇をみては地域を歩きます。特産のプリンスメモロニーや、裏作いちご等のハウス促成が盛んです。花卉やトマトもみられます。パイロット事業の果樹園の造成、乳牛、養豚、養鶏も厳しい事情であえいでいます。のりやあさりの養殖も問題をかかえております。かつて栄えた塩田は、姿を消して畑となり、急速に産業構造が変わりつつあります。

吉良家の華藏寺、尾崎士郎の旧宅、吉良の仁吉の墓、町内のあちこちにある土郎の遺筆原稿や、糟谷家古文書など話題にこと欠きません。魚のうまいことまたいうことなし、私にとってはどれも新鮮な刺激です。一度ゆっくり案内したいですね。

学校は四〇〇余人の十二学級、職員数十八人の手ごろな規模。ゆとりある教育を目ざしていますが……。葵や梅園で経験して見聞きし、学び考え続けたことがすぐく役立っています。

郷にしたがいつつも郷に生き、郷を興す力を尽くそうと、ひたすら念じています。広域人事を養子縁組だと思いう人もおられますが、ビルマまで流れた私にしてみれば、一宿一飯の仁義は守ります。人間に到る処に青山ありとの心境です。

「教育を語る会」で会いましょう。また叱ってください。では お元気で。

(隣豆・吉良小)

# 山から海から



かこまれて

## 学級通信も太る

山浦 昭雄

……四月四日の入学式が終わって教室にはいつていると、太った先生がはいってきて、「今日から君たちを受けもつ山浦です」と大きな声で言ったので私はびっくりしました。小学校で受けもつてもらった先生の中に、こんなに太った先生で、初めからこんな大きな声でしゃべった先生はおられず、はじめてのことだからです。こんな先生に叱られたらいいべんに泣き出してしまいそうだな。すこしたつと「ぞうきんと学生はしほるほど良い」なんて言われるし、一年から三年まで受けもつというので、「いやだな」と思いました。家に帰って、お父さんとお母さんと兄ちゃんに、「わたしんどの

担任の山浦先生っておつかないに」と話してやると、お母さんが、「それじゃ、小百合たち少ししたるんだつたで、ちよいといいじゃん」と言われました。……  
(学級通信、第四号より)  
すばらしい岡崎の教育を教えてやろうと肩をいからせている様子を見すかされたようでした。ポロ校舎、少人数でじめじめした雰囲気想像して来たのにまるで逆でした。近代的建築のすばらしい校舎、スタジオ付放送室、カラーテレビ付教室、L.L教室が二つもあり、どうやって完全にこれを使いこなしたらよいか、おたおたするのは、むしろこちらでした。子ども達はすぐになつき、私の胸に飛びこんで来てくれました。「先生わらびがとれたであげるよ」「あゆがつれたで食べりんよ」と季節の幸を、さもうれしように届けてくれます。教師としての幸せ

本年四月に転出された  
わたしたちの仲間から便りが届きました



移動図書館がやってきた

を体一ぱいに味わってはりきっているところ。学級通信も、七六号に太りました。

今日も子ども達は元気一ぱいです。

緑の大地 青い空

われらが豊中 一年生

クラスみんな 団結し合い

明日に向かって 進むのだ

苦しみ悲しみ なんのその

めざすは 英語日本一

(北設・豊根中)

## 涼風に

仕事ははずむ

矢野 達雄

岡崎市の東北約三〇キロ、標高四六〇

メートルにある額田町立千万町小学校。  
毎朝、八時、全校児童二七名、職員六名が見上げる緑の山々に囲まれた青空に日の丸が掲揚され、山の学校の一日が始まります。  
私は五年(六名)と六年(三名)の担任。複式指導、全校体育、全校器楽、全校会食、全校児童会……小規模校でなければ体験できないことにとまどいがちです。「教育に僻地をつくってはいけません」と、同僚の先生方ともいがんばっています。

児童会長、通学団長、学級委員、保健委員長、これは六年M子の仕事。

国語、社会、体育、特活、図書、視聴覚の六つの主任に教務の仕事、七月末までに、開校百周年記念誌とスライドの作成、九月末までに、県の研究集録「VTRを活用した学習」、郡複式研究会「子どもが主体的に学ぶ社会科」の研究のまとめ、これは私の仕事。子どもも先生もおおいそがしです。

三時三十分、高学年の授業が終わるのを待っていた下級生とともに器楽の練習が始まります。毎日二時間、「トルコ行進曲」をくり返し練習しています。校訓「やりぬく心」が実践される一場面です。五時過ぎ、一斉下校。ひっそりした教室で複式授業の教材研究。山の日暮れは早い。「一時間かかってもよいから、きょうも安全運転で山を降りるとしよう。」

(額田・千万町小)

# 伝統の意味

京都大学人文科学研究所教授

上山春平



私は、二十歳前後に戦争に出て死ぬという覚悟を一転してしまつて以来、非常に食欲になりました。死ぬ直前までいろいろ知りたいことがありながら、専門の狭いむずかしいものにしてがついてさつぱりわからない。生きて帰つてからは、とにかく自分が知りたいと思うものならとことん納得のいくまで知り尽くしてやろう、と腹を決めたんです。

現代のわれわれの身近な政治問題——第二次大戦——を探つていくと、明治維新に突き当たります。さらに維新の中で天皇という問題にぶつかつてみると、その根はずつと律令までさか上ります。いったい日本の歴史はどこまで一つの独自性の根が続いているのか、われわれを駆り立ててくれるようなむずかしい問題が日本の歴史の中には、ゴロゴロしているんですね。

討してみると、律令制と明治維新のほかに、もう一つ、これと並ぶ節のあることに気づいてきたんです。徳川幕府の成立というへんなんです。ここで、非常に注目すべきことが行なわれた。日本列島という、そこで何百万、何千万という国民がおつて、その中で精神をもった人間が働いている。物を作っている。そこに大きな見通しをつけていく非常にダイナミックな国家デザインをしていったんですね。

明治の国家デザインと八世紀の律令の国家デザインは、両方ともお手本が外国にあるんです。ところが、そのまん中にはさまれた徳川幕府というデザインは、文字通り日本にできた国産品であり、モデルはないんです。ところで、この三百年間の日本というものを、現在われわれは、恨みつらみといいますが、明治で否定し、第二次大戦では民主主義に反対するものとして否定してきました。

しかし、こういう伝統はもうわれわれがせつかに否定しななければならぬほど力は強くない。古い歴史を探っていると、あつ、ここで終わるなというところがいつばいあるんです。

伝統というのは、口移しにしないでいくことなんです。ね。親から子、先生から弟子へ。伝統というお乳を受けながら、両親に文化をおそわつていく。これが伝統の基軸だと思うのです。それが現代のように文明社会になると、教育という制度でもつて、「読み・書き・そろばん」という基礎文化を次の世代に授けるわけですね。そして、この二二が四というようなことは、何百年たつても変わらないうちで、学問は進歩するなんて

いうが、全然進歩しないところもあるんですね。教育のいちばん基幹になつてゐるのは、その進歩しない部分、変わらないところですね。

これを次の世代にいちばん基礎的なものとして、どうしても伝えなくてはならない。いわゆる教育という形で伝統を伝えていくんですが、現代の教育は日本に閉じていけば、日本の伝統を破壊する力になつてきたんですね。明治以後は……。その線上にある方々が、私は、伝統の意味をもういちど再検討するといふ心のゆとりを持つていただきたいと思うし、そのこと自体が、やはり教育本来の仕事とかわつてくるんではないかと思うんです。

現在、私は、徳川というものの意味を日本の政治・思想・文化の伝統の中に位置づけて、その意味を再検討するゆとりのある立場というのが作り得るんではないかと考えているんです。はたして、家康を出発点とした幕府の国家デザインというのは、日本の国家デザインの中でどういう位置を持つてゐるのか。われわれが受け継ぐべき点は何か、意識的に克服していくべき点はどれか、そういうことをこれからの私の一つの課題にしてみたいんです。このことは、ある意味で、戦後の日本文化の再検討の手がかりにもなるんじゃないかと思うんです。

(文責 千田水城)

# かがみ

悩んで そして

鶴田紀美子

先生、あいかわず汗を流してソフトボールをやってみることでしよう。夏が来ると、小学校時代の練習を思い出します。太陽は照りつける、汗は出る、のどは渇く、おなかはずく……一番つらかったのは、弱音を吐いたばかりに、父にやめるようにといわれた時です。「チームにとっても大きな痛手だけれど、一番痛いのはだれかな？」という先生のことばで、わたしは決心しました。最後までやってよかつたと思います。

今年、高校生になった彼女から暑中見舞状をもらった。試合を2週間前にしての彼女の申し出には、さすがに困った。翌日の「やります」ときつぱりいい切ったさわやかな顔を思い出しながら、読み終えた。

(大樹寺小)



講座「岡崎教育文化大学」始まる

【刊行あない】  
 ◇資料・同楽山人 角谷米三著  
 同楽翁ゆかりの学校に勤務する著者が、歳余にわたり発掘、収集した多数の資料を駆使しての異色の人物研究。地方史や地方文化を考える人々にとっても好個必見の資料であろう。

明日の教育と市民文化を考える

しばらく途絶えていた市民対象の大学講座が、名称も、講座「岡崎教育文化大学」として復活し、八月十八日から五回にわたって岡崎信用金庫中央支店二階ホールで開講される。

テーマは、「明日の岡崎の教育と市民文化を考える」。社会的に教育や文化への関心も高いおりからであり、さらにはフレッシュな講師陣、地元や、身近な問題を中心とした講座内容の魅力もあって、七月二十日の締切りを待たずに定員いっぱいの中込み。担当する運営委員会もうれしい悲鳴といったところだが、今から講座の成果が大いに期待されている。

【緑陰講座】8月18日(日)、「教育と創造」外山滋比古(お茶の水大学教授)▽同22日(木)「日用品公害」青山光子(名古屋市立大学助教授)、「色のあられる化学」尾嶋平治郎(愛知教育大学教授)▽同29日(木)「岡崎の気温分布と市民生活」田平誠(愛知教育大学助教授)【涼秋講座】10月27日(日)、「松平八代と家康の領国支配」新行紀(愛知教育大学教授)▽11月17日(日)、「岡崎の庶民文学」鈴木勝忠(岐阜大学教授)■「岡崎の歴史物語」編集進む 児童・生徒向きの「岡崎の歴史物語」の編集が、小中の社会

科の先生方による編集委員会(代表岩月栄治先生)で、既に一年前から始まり、この夏休み中に原稿の完成をめざして執筆、検討が続けられている。岡崎の古代から幕末に至る歴史のうちから約四十項目を選びその一項目毎を確かな資料や史実を織り込んだ三、五ページの楽しい読み物(お話)にしよとするもので、これを通して小中学生が郷土の歴史に親しむことができるとしていている。写真やさし絵入りでA5判二五〇ページのものが二学期末には刊行される予定。

■山の家で新任教員合宿研修 夏休み開始早々の七月二十三、二十四日の両日、新任教員夏季合宿研修会が本宿働く者の山の家で実施された。一学期間の諸問題の総括反省と共に、会員相互の親睦理解を深めようとしたもので、内容は森信三先生、鈴木弥一郎先生の講演をはじめ、発表、話し合い、キャンプファイヤー、オリエンテーリングなど。会員八〇名、びっしり組まれた日程にもめげず意欲的に参加して、実りの多い研修とすることができた。

● 49年度夏季実技講習の実施概要

種目	区分	実施期日	会場	参加者	講習内容
国語	小・中	8/1(木)	六名小	各校1名以上	・学級通信づくり体験発表 ・一枚文集の作り方 ・孔版実技 ・印刷、製本のしかた
書写	小・中	8/8(木) 9(金)	城北中	20学級以上2名 19学級以下1名	・毛筆の基本 ・かな書写の基本 ・教材のすすめ方 ・孔版実技
社会	小	8/5(月) 6(火)	六名小 市内各地	13学級以上2名 12学級以下1名	・講話「岡崎の埋蔵文化財」 ・土器、石器の見方 ・野外観察と工場見学 ・市内巡検
音楽	小・中	7/29(月) 30(火)	竜海中	小3~6音楽担当各校1名、および同音楽担当新任教員	・笛の初歩指導 ・歌唱実技指導
図工・美術	小・中	7/29(月) 30(火)	岩津中	19学級以上2名 18学級以下1名	・パネル作り ・レタリング実習 ・コスチュームスケッチほか
家庭	小	8/8(木) 9(金)	六名小	18学級以上2名 17学級以下1名	・衣食領域指導の資料研究と製作 ・資料の活用の研究 ・工場見学
技術・家庭	中	8/7(水)	城北中	技術家庭科担当全員	・塗装の実習(ポリエステル、ラッカー) ・工場見学
英語	中	8/1(木) 2(金)	美川中	英語科担当全員	・講演「L・L実演授業・シンポジウム「TP作成とその利用」」 ・TPの作成実技
特殊教育	小・中	8/2(金) 3(土)	婦人会館	各校1名以上	・講演 ・事例研究 ・WISC知能検査の実施実技
図書館	小・中	8/8(木)	三島小	13学級以上2名 12学級以下1名	・写真、絵はがき、新聞の整理 ・図書受入れから配架までの実務
視聴覚 (小・中)	VTR 自作 OHP 中級	8/5(月) 6(火)	連尺小	初級希望者50名 中級希望者50名	・ビデオダンスの取り扱い ・VTR教材の作り方 ・VTR教材の作り方 ・教材の製作と試写
		8/13(火)	婦人会館	希望者80名まで	・OHPの構造と利用法 ・TPの製作実技

## 8月の行事

日	曜	行	事
1	木		国語(文集づくり)実技講習、英語実技講習(2日まで)
2	金		特殊教育実技講習(3日)、市長杯陸上競技大会(総合閉会式) 県小学校教育課程研究会(豊橋八町小)、月報編集委員会(市役所)
3	土		歴史物語編集委員会(羽根小)
4	日		
5	月		社会科実技講習(6日まで)、市中学校長会(市役所) 視聴覚(VTR)実技講習(6日まで)県新任教員研修会(6日まで)
6	火		三河部校長会役員会(市役所)
7	水		技術家庭実技講習、県中学校選手権大会(9日まで) 市小学校水泳大会(羽根小)
8	木		図書館実技講習・書写実技講習(9日まで) 小学校家庭科実技講習(9日まで)
9	金		
10	土		童話研究会(婦人会館)
11	日		市学童水泳記録会(市民プール)市民総合水泳大会(市民プール)市夏 季ソフトボール選手権大会(県営グラウンド)市民軟式庭球選手権大会(公園)
12	月		県中学校教育課程研究会、西三事務協中学校体育実技講習
13	火		視聴覚(OHP)実技講習
14	水		
15	木		
16	金		生徒議会、郷土読本編集委員会(羽根小)県新任小中管理職 員等研修会(17日まで)環境緑化推進委員会(六名小)
17	土		新任教員研修運営委員会(市役所)
18	日		岡崎教育文化大学(講師・外山滋比古先生) 市民カメラ大会(桑原町)
19	月		
20	火		三河学び方学習大会(連尺小)
21	水		
22	木		岡崎教育文化大学(講師・青山光子先生、尾嶋平治郎先生)
23	金		
24	土		
25	日		東西三河村抗水泳大会(市民プール)市民軟式庭球納涼選手権大会 (公園コート)全日本少年少女バレーボール西三河大会(岡崎女高)
26	月		
27	火		
28	水		定例教育委員会
29	木		岡崎教育文化大学(講師・田平誠先生) 歴史物語編集委員会(羽根小)
30	金		
31	土		

●カ ッ ト 杉 浦 む つ み (井田小)



この本を

- ・児童文学の笑い 原 昌  
牧書店 49・5 ￥1200
- ・日本の民俗(愛知) 第一法規 48・12 ￥950
- ・層雲(教育についてのエッセイ) 上田 薫  
黎明書房 48・12 ￥1500
- ・仏教の思想 上山春平・梶山雄一  
中公新書 49・6 ￥360
- ・いたずら時代の人間形成 鈴木道太  
新評論 49・7 ￥600
- ・銅鐸の謎 大羽弘道  
光文社 49・5 ￥500
- ・中国語五十年 倉石武四郎  
岩波新書 48・1 ￥230
- ・論語 桑原武夫  
筑摩書房 49・4 ￥1200
- ・仏像に想う(上・下) 梅原猛・岡部伊都子  
講談社現代新書 49・5 ￥330
- ・山村を歩く 岡田喜秋  
河出書房 49・6 ￥980

▼のりごわの浴衣の君は子煩悩  
孝作

▼盛夏ノ海へ山へといわないで、向日葵  
見ながら何くそと頑張る汗の涼しさよ。

▼遊ばなくなつた子、じつは遊ばなくな  
つた子、まねすることすらやらなくな  
つた子。

▼「浴衣着て、吾子とうちわで過ごすゆ  
とりがほしい」と、小さな声にする。

▼汗して涙して育くんで喜びがちよっぴ  
り。——かがみのこころ

寸  
言